

(株)東京航業研究所、(有)文化財 COM

6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。特に、大井氏館跡遺跡第14地点の調査にあたっては富士見市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。また、江川南遺跡第19地点の調査にあたっては上福岡市教育委員会ならびに同市作業員の方々に多大な協力を頂いた。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉(敬称略)

新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、内田潔、大曾根キク子、笠原英子、加藤智香子、金子君子、小林こずい、河野匠、河野格、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、鈴木勝弘、関田成美、高貝しず子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、増沢勝実、村端和樹、若尾久美子、若林紀美代

(富士見市教育委員会) 飯田久子、上田寛、川上文明、佐々木真理子、島田仁、清水七枝、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、戸田美根子、富田茂夫、中川和弘、成田淑美、成田良一、羽田美代子、吉田信江

(上福岡市教育委員会) 長田弘毅、壺岐ヒサ子、井川弘、宇佐美弘澄、遠藤忠志、小田静夫、小野沢保孝、菊口繁子、西城満期子、鈴木ちい、滝沢久嘉、富寺佐代子、中村正、宮崎達夫、吉田寛

〈整理事業参加者〉(敬称略)

青山奈保美、石垣ゆき子、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、福島雅子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1) 縮尺は原則として

遺構配置図 1 : 300 遺構平面図・遺物出土状況図 1 : 60、1 : 30 炉などの詳細図 1 : 30
土器実測図 1 : 4 土器拓影図 1 : 3 石器実測図 1 : 3、2 : 3 銭 1 : 1

(2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。

(3) 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

攪乱  地山(ローム)  焼土 
土器 ● 石器★ 黒曜石・チャート▲ 礫○

(4) 土器実測図における screen-tone の指示。

地文縄文  撚糸文 

(5) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。

3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 2002年度埋蔵文化財調査一覧表

	遺跡・地点名	申請地	面積(㎡)	原因	試掘期間	調査期間	備考
1	亀居遺跡第56地点	亀久保2-13-14	172	個人住宅	—	2002.11.5~11.21	教育委員会で本調査
2	鶴ヶ舞遺跡第6地点	鶴ヶ舞1-84	474	個人住宅	2002.9.10~9.13	—	試掘調査
3	江川南遺跡第16地点	東久保1街区	3,752	給油所	2002.9.24~10.4	—	試掘調査
4	江川南遺跡第17地点	東久保1街区20,22,23	474	土地区画整理	2002.10.29~11.11	—	試掘調査
5	亀久保堀跡遺跡第27地点	東久保31街区2,3画地	980	店舗	2002.6.10~6.11	—	試掘調査
6	東久保遺跡第50地点	東久保3-22	102	個人住宅	2002.9.24	—	試掘調査
7	東久保遺跡第51地点	東久保18-11画地	155	個人住宅	2002.12.3	—	試掘調査
8	東久保遺跡第52地点	東久保4街区3画地	64	個人住宅	2003.2.6~2.7	—	試掘調査
9	東久保西遺跡第15地点	東久保9街区3画地	225	個人住宅	2003.2.3~2.5	—	試掘調査
10	東久保南遺跡第27地点	東久保63街区1画地	610	共同住宅	2002.5.29~6.7	—	試掘調査
11	東久保南遺跡第28地点	東久保60街区3・4画地	322	共同住宅	2002.9.13~9.21	—	試掘調査
12	東久保南遺跡第29地点	東久保64街区1・4画地	736	駐車場	2003.3.17~3.20	—	試掘調査
13	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	165	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
14	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	155	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
15	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	132	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
16	西ノ原遺跡第122地点	大井苗間西ノ原99-1	140	個人住宅	—	2002.6.21~7.22	教育委員会で本調査
17	西ノ原遺跡第123地点	大井・苗間19街区10画地	252	共同住宅	2002.9.3~9.9	—	試掘調査
18	西ノ原遺跡第124地点	苗間137-2	524	個人住宅	2002.10.2~10.6	2002.10.8~10.11	教育委員会で本調査
19	西ノ原遺跡第125地点	旭1-8-2	182	個人住宅	2003.2.14~2.19	—	試掘調査
20	中沢前遺跡第20地点	大井・苗間33 35-8-1	762	老人介護施設	2003.2.3~2.5	2003.4.7~6.3	試掘後、調査会で本調査
21	中沢前遺跡第24地点	大井・苗間30-5	185	個人住宅	2003.2.7~2.13	—	試掘調査
22	神明後遺跡第18地点	苗間304-1,303-6	672	分譲住宅	2002.5.15~5.25	2002.5.27~6.21	試掘後、調査会で本調査
23	神明後遺跡第19地点	苗間264-4	216	個人住宅	2002.9.18~20	—	試掘調査
24	神明後遺跡第20地点	苗間293-11	143	個人住宅	2003.1.14~1.15	—	試掘調査
25	神明後遺跡第21地点	苗間283-1	674	造成	2003.1.10~1.30	—	試掘調査
26	浄禅寺跡遺跡第22地点	苗間373-5,377-5・3・4,373-8	935	分譲住宅	2002.4.23~5.14	—	試掘調査
27	大井宿遺跡第7地点	大井・苗間37街区14画地	257	事務所	2002.4.15~4.16	—	試掘調査
28	大井宿遺跡第9地点	大井1-3-14,15	1,617	宅地造成	2003.2.26~4.3	2004.7.30~9.3	試掘後、調査会で本調査
29	大井氏館跡遺跡第14地点	大井・苗間129街区2画地	984	共同住宅	2002.5.22~6.6	2002.6.20~8.9	試掘後、調査会で本調査
30	大井氏館跡遺跡第15地点	大井・苗間126街区1画地	135	個人住宅	2002.7.24~8.2	—	試掘調査
31	大井氏館跡遺跡第16地点	大井2-242-1	677	個人住宅	2002.8.5~8.22	2002.8.23~9.5	教育委員会で本調査
32	大井氏館跡遺跡第17地点	大井1-11-9	50	道路	—	2002.11.19~12.2	教育委員会で本調査
33	大井氏館跡遺跡第18地点	大井・苗間80-6-9	476	個人住宅	2003.1.17~1.22	—	試掘調査、大井宿8地点を変更
34	本村遺跡第99地点	大井・苗間99-1	446	共同住宅	2002.6.19~21	2002.7.1~7.31	試掘後、調査会で本調査
35	本村遺跡第100地点	大井・苗間85街区7画地	463	分譲住宅	2002.8.20~8.26	—	試掘調査
36	本村遺跡第101地点	大井・苗間131-2	217	店舗併用住宅	2002.9.30~10.4	—	試掘調査
37	本村遺跡第102地点	大井・苗間101-7画地	1,264	共同住宅	2002.11.11~11.15	2002.12.11~2003.2.10	試掘後、調査会で本調査
38	本村遺跡第103地点	大井143	237	個人住宅	2003.2.13~2.18	—	試掘調査
39	本村遺跡第113地点	東原52-22	1,051	駐車場	2002.8.22	—	試掘調査、地点を後付加
40	東台遺跡第39地点	大井626-8	100	個人住宅	2002.6.3~6.20	—	試掘調査
面積合計			21,181				

Ⅶ 江川南遺跡の調査

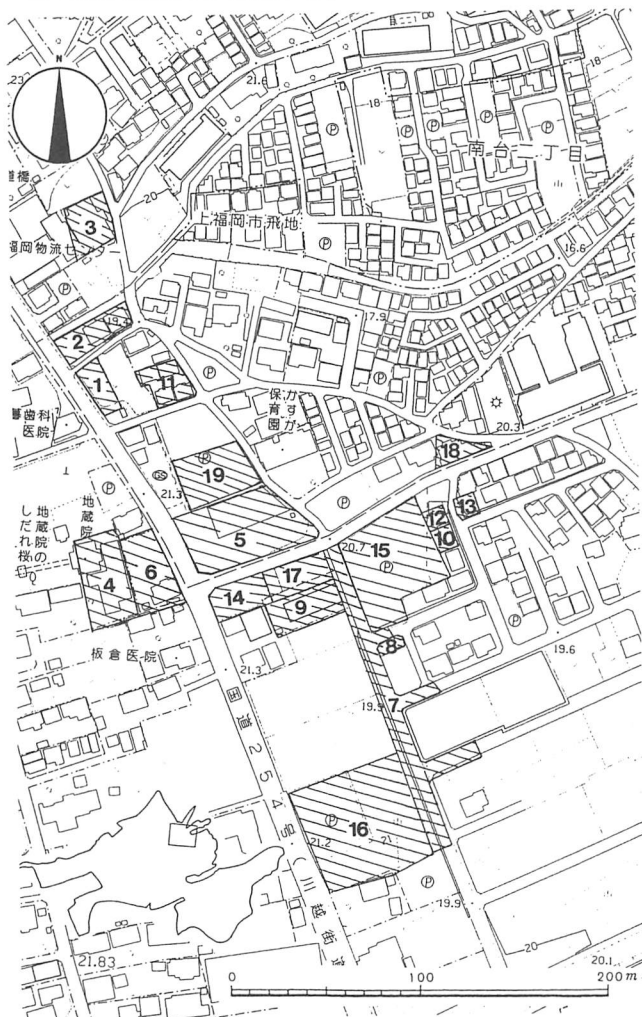
1 遺跡の概要

江川南遺跡は、入間川支流の新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約300～500m程下った右岸に位置している。

遺跡の標高は20～21mで、現谷底との比高差は約1～2mを測る。福岡江川北側の右岸は急傾斜を成すが、本遺跡をのせる南側右岸の台地は緩やかに傾斜する。

遺跡の中央部を南北に川越街道がはしり、川越街道から東に県道東大久保・大井線が延びる。主要道路が交叉し、東武東上線福岡駅から約1kmという立地条件のため、昭和40年代には個人住宅や工場などの急激な開発による市街化がなされ現在に至っている。

周辺の遺跡は、福岡江川の北西側対岸に縄文時代中期前葉の単一集落である亀居遺跡が位置し、同じく北側に鶴ヶ舞遺跡が位置する。東側約150mには、平安時代の遺物を出土する江川東遺跡と、同じく東側約50mに東久保遺跡が位置する。



第18図 江川南遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

本遺跡は当初、地藏院遺跡と江川南遺跡とに分かれていたが、平成5年に遺跡の変更増補を行ない、江川南遺跡に統一した。なお、1985年に調査した地藏院遺跡第1地点は江川南遺跡第6地点に名称を変更した。また平成9年には亀久保堀跡遺跡と本遺跡を分けた。

本遺跡では旧石器時代の石器・礫群、縄文時代中期の住居跡、土坑等、古代～中世の堀跡、地藏院に関わる近世の遺構群等、遺跡の時期は多岐にわたる。

2 江川南遺跡第6地点

(1) 調査の概要

調査は店舗建設に伴うもので、原因者より2003年4月11日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は1985年に第6地点として調査済みであるが、1995年に隣接地の第4地点で縄文時代の住居跡を検出し、今回の調査区にも住居跡が延長していることが明らかとなったため、原因者と協議のうえ試掘調査を実施した。

調査は2003年4月16日から同年4月24日まで行なった。住居跡の想定区域に幅約1mのトレンチを設定し、重機により表土除去した結果、住居跡を確認し、遺構を掘り下げた。確認面までは50cmを測る写真撮影・遺構測量等記録保存を行ない、重機で埋め戻しをし、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① 2号住居跡

【位置】調査区の西端に位置する。遺跡内では南端にあたる。本調査区では住居跡の東側約1/4を検出した。(「町内遺跡群Ⅵ」大井町教育委員会1997参照)

【形状】平面形態は楕円形を呈し、規模は5.0×4.2m、確認面からの深さは40cmを測る。炉は第4地点で検出しており石囲い炉である。床面は平坦で壁は緩やかに立上る。

【ピット】今回5基検出し、P1・2・5が主柱穴となる。

第9表 江川南遺跡2号住居跡ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
3	半堀	43 ×	16 ×	11	
4	円形	25 × 25	15 × 13	18	
5	円形	36 × 28	8 × 8	75	柱穴
6	円形	22 × 18	10 × 6	23	
7	円形	28 × 22	12 × 10	13	

【出土遺物】縄文中期の土器片180点余りと石器が出土した。土器は第4地点で報告分と同様の傾向で細片

のため掲載を割愛し、石器のみ図示した。

第10表 江川南遺跡2号住居跡出土石器観察表 (単位:cm・g)

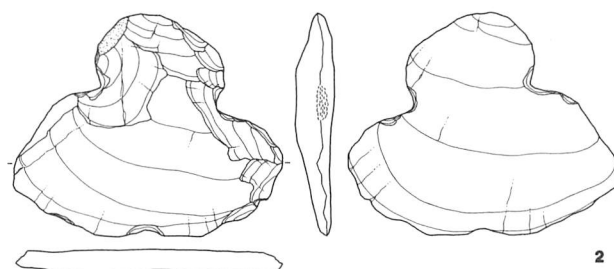
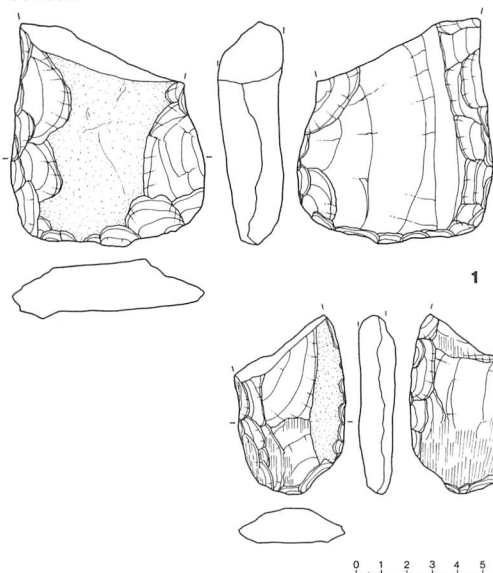
	種類	石材	長	幅	厚	重量	
1	打製石斧	砂岩	8.8	7.8	2.7	200.3	基部欠
2	粗製石匙	砂岩	8.8	10.7	1.5	114.6	
3	打製石斧	頁岩	7.1	4.3	1.5	52.5	基部欠
4	ピエス・エスキュー	黒曜石	0.8	1.0	0.6	0.4	P4出土
5	剥片	黒曜石	2.0	0.8	0.5	0.5	

3 江川南遺跡第16地点

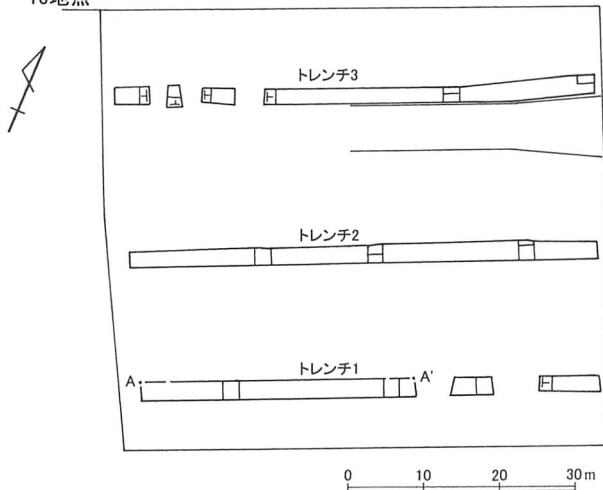
(1) 調査の概要

調査は給油所建設に伴うもので、原因者より2002年

2号住居跡

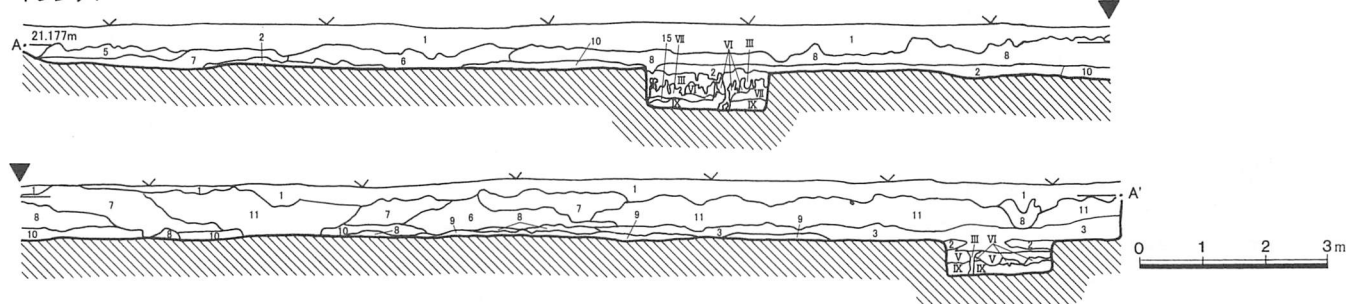


16地点



- Ⅲ.立川ロームⅣ層がソフト化
- Ⅴ.立川ロームⅤ層 第一黒色帯
- Ⅵ.立川ロームⅥ層
- Ⅶ.立川ロームⅦ層 第二黒色帯
- Ⅷ.立川ロームⅧ層 第二黒色帯
- Ⅸ.立川ロームⅨ層 第二黒色帯
- 1.黒褐色土 一部硬質、ローム小ブロック(極微量)混入
- 2.ローム層 一部攪乱、4層に似る
- 3.黒褐色土 硬質、ローム(少量)混入
- 4.黒褐色土 軟質、ローム(微量)混入
- 5.黒褐色土 ローム小・微小ブロック(少量)混入
- 6.黒褐色土 茶褐色土、ローム(少量)混入
- 7.暗茶褐色土 硬質、ローム中・小ブロック(少量)混入
- 8.茶褐色土 硬質
- 9.黒褐色土よりやや明るい 硬質
- 10.8層に黄茶褐色土(少量)混入、硬質
- 11.7層で一部ボロボロ
- 12.黄茶褐色土 ボロボロ、黒色土(微量)混入
- 13.黄茶褐色土 ボロボロ、黒色土(少量)混入
- 14.暗茶褐色土 硬質
- 15.Ⅵ層よりやや明るいローム

トレンチ1



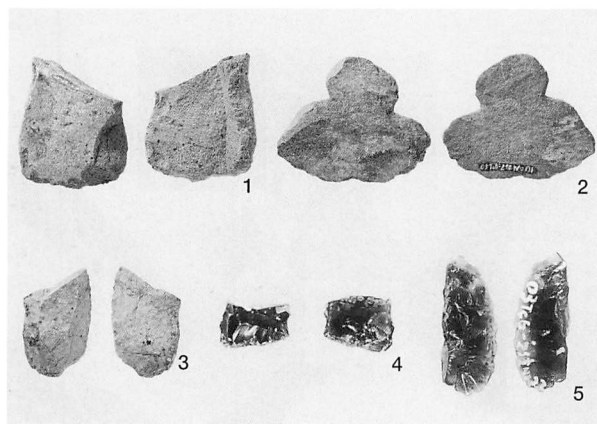
第20図 江川南遺跡2号住居跡出土石器 (1/3・2/3)、第16地点遺構配置図 (1/1,000)、土層 (1/120)

9月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南端に位置するために原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2002年9月24日から同年10月4日まで行ない、幅約2mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。確認面まで60~90cmを測る。写真撮影・全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。



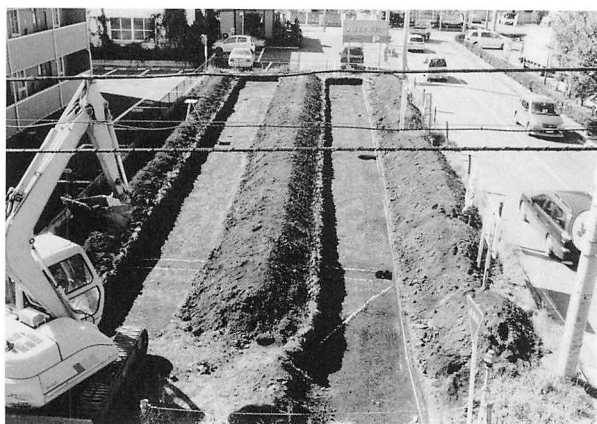
江川南遺跡第6地点2号住居跡



江川南遺跡第2号住居跡出土石器



江川南遺跡第16地点試掘調査



江川南遺跡第17地点試掘調査



江川南遺跡第17地点本調査